

| 第 29 回合同協議会 議事録<br>(豊洲5丁目連絡協議会・豊洲5丁目地区開発協議会) |   | 承認 | 検印 | 起票<br>071112<br>小山 |
|--|---|----|----|--------------------|
| 日時   | 平成19年 11 月 10 日(土曜日)13:00~15:30:都営集会所   |    |    |                    |
| 出席   | 東京都港湾局 中澤係長、鶴田次席<br>東京ガス 横尾<br>芝浦工大 横山、浅海、松下<br>豊洲5丁目地区開発協議会:4名<br>関口、町井、本宮、仲本<br>豊洲5丁目連絡協議会:11名<br>都営:柳澤会長、今副会長、<br>メトロコープ第1豊洲:近藤、小山<br>メトロコープ第2豊洲:池田理事長、<br>石塚副理事長、手塚<br>オーベルグランディオ:小柴理事長、寺川理事<br>東電社宅:照沼理事、妹尾管理人<br>計20名 | 記録 | 小山 |                    |
| 議題   | 1 各種工事関係のお知らせ<br>2 クルージングイベントの紹介<br>3 その他   |    |    |                    |
| 資料   | 「(防潮堤撤去)工事概要」「(豊洲計画プロジェクトギャラリー新築工事)工事のお知らせ」「豊クルーイベントちらし」「歩行者空間の環境整備のイメージ案」「豊洲五丁目地区景観ガイドライン案 H19.10.26 現在版」「ガイドラインチェックシート」   |    |    |                    |

## 議題 1, 各種工事関係のお知らせ

### (1) 防潮堤撤去工事

東京ガス横尾氏のガイドに従い、東京都港湾局担当から工事概要の説明が行われた。以下要点概略・確認事項等を記す。

- ・ 工事期間は来年1月から1年強
- ・ 光ケーブルは水門開閉を制御するための重要施設
- ・ 工事箇所はメトロ第2前から東電社宅玄関前まで。オーベル前部分はまだ防潮堤機能を継続。(東電掘側の用地が決まっていないため)
- ・ 工事車両用の通路として防潮堤2箇所が先に撤去される
- ・ 工事車両は工事作業範囲内に駐車する
- ・ 杭抜き工事に用いられるヒロワーク工法とは杭をくるむようにパイプをねじ込み、パイプごと引き上げる方法で、騒音が比較的少ない工法とされる
- ・ 業者決定は来年1月初旬で、工事日程などの詳細は決定以降になる
- ・ 住民用の掲示物は適當時あらためて配布する
- ・ ヤマト運輸出入口は来年4月以降に使用可能となる

連絡協議会としては、住居間近で長期間にわたる工事となるので、特に騒音等の配慮等を強く求めた。

### (2) 6丁目住友不動産モデルルーム工事

横尾氏より工事延期になっていた当該モデルルーム工事着工の目途がついた旨の報告が

行われた。工事概要についてはすでに紹介済み。今回は掲示物の紹介となった。

これに対し連絡協議会から住民に判りやすいように地図を追記してもらいたいとの要請が行われ、適當時配布することになった。

## 議題 2, クルージングイベントの紹介

(1) カヌー無料体験イベント (11月23日/主催 マリンスポーツ (財))

横尾氏より紹介。東電堀で行われる。広告物の掲示及び参加を要請。

(2) 豊クルーイベント (11月24日/主催 芝浦工大)

浅海副委員長より紹介。芝浦工大の学園祭(芝浦祭)期間(23~25日)中の24日に豊洲1丁目周辺で行われる。主旨は以下のとおり。

- ・ 運河ルネッサンスなどで近年高まりつつある水辺興しに豊洲も加わり、当地区の街づくりの一助としたい。
- ・ 将来的には豊洲の街づくりイベントとして定着させたい

これに対して連絡協議会側から以下の指摘があり、各々対応をはかることとした。

- ・ 芝浦祭の情報が五丁目に対してまだない。昨年もそうだった。まずは全体の情報として学園祭、その一環としてのイベントであることを告知するよう学園祭担当と協議して対応して欲しい
- ・ チラシには決行/中止の判断、乗船の決定方法(予約 or 先着 or 抽選)などの情報がない。希望者が多い場合、相当な混乱が考えられるので、これらの方法を確定し追記して欲しい。

以上の配慮はカヌーイベントの広報にも同様とする。

## 議題 3, 豊洲5丁目地区 地区計画の検討(継続)

(1) 景観ガイドラインについて (開発協議会)

① 区道のプラン (「歩行者空間の環境整備のイメージ案」参考)

オーベルからの指摘への回答案として開発協議会から区道のプランイメージ図が提出された。以下このプランに対する応答及び確認

【図中、区道 B とされる箇所について】

(旧ドゥ側 27m 幅区道)

- ・ 分離帯、及び舗道を広くとり車道を狭くする。
- ・ 分離帯の存在がかえって周辺居住車の運行を妨げることになる可能性がある(駐車場への出入り)。よって途中分離の必要があるかも知れないが難しいかもしれない。

【図中、区道 A とされる箇所について】

(メトロ第2前からオーベルまでの防潮堤脇区道)

- ・ 先の説明でオーベル前の防潮堤の撤去は今現在計画されていない。従ってプ

ランの構え方も柔軟にする必要がある。すなわち原則たる将来像と、これに至るまえの中間目標的なビジョンの2つ構え的なプランである。

以上の検討過程において本プランのコンセプトを以下の通りとした。

**将来の築地市場移転も考慮し、外部大型車両のいたずらな流入を避け、安全で騒音、排ガス被害をもたらさず、かつ災害時などの緊急時にも対応できる道路幅とする。**

以上の結果をもとに今月中に江東区土木部に構想案の概要を伝える。

② 景観ガイドライン新版について（「豊洲五丁目地区景観ガイドライン案 H19.10.26 現在版」参考）

最新版を紹介した。概要は以下のとおり。

- ・ 本新版は合同協議会の前にグランアルト説明会にて出席者に紹介したことをあらかじめご了解のほど
- ・ バージョンアップの主な点は、先に行っていただいた住民アンケートの意見を一部反映した。
- ・ 新規開発時におけるチェックシートを作成した

現在、運用規則案の準備をしている。次回に検討を要する

(2) グランアルトさんへの説明報告

本説明の前に開発協議会から以下の経緯報告があった。

(開発協議会本宮氏)：10/28にグランアルトさんへの説明会を行った。当初10/13の開催を求められていたが、開発協議会のメインスタッフである清水建設の都合により28日となった。

次に28日説明会に同行した小山から報告があった。概要要点は以下のとおり。

- ・ グランさんからの出席者は7名だった。
- ・ 開発協議会から本地区計画のあらためての主旨説明、及び最新版の景観ガイドライン説明を行った
- ・ 小山からは連絡協議会の成り立ちと本地区計画に関わった経緯を説明した
- ・ グランさんからは主に日影についての色々なご意見をうかがった
- ・ 景観ガイドラインを実現させ、正しく運用するためには住民自身の自覚と努力が必要。このためにはグランさんの連絡協議会参画が必須と考えている。理解を求める努力を今後とも続ける所存

#### 議題 4, その他

(1) 大華火の集約状況

小山から報告。東ガス横尾氏のご協力で中央区にその後の対応をプッシュしていただいたが、反応はすこぶる鈍い。住民を交えた総括はしないようだ。江東区も含め対応策

を今後検討していきたい。

- (2) 公明党小嶋議員からの情報  
有明に短大、大学ができるもよう。

**次回開催予定：12月8日 14:00～ 於都営集会所**

以上